

2014年2月25日(火)
～2015年2月15日(日)

休館日 | 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日休館)
開館時間 | 午前9時00分～午後6時30分(入館は午後6時まで)
観覧料 | 一般400円(320円)
高校生200円(100円)
高齢者(松山市内に居住する65歳以上)200円(160円)
※中学生以下は無料 ※()内は20名以上の団体割引料金

第8回企画展 テーマ展示
近代国家制度の形成 1 明治の教育

子規・真之と小学校



坂の上の雲ミュージアム
SAKA NO UE NO KUMO MUSEUM
〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地
TEL 089-915-2600 FAX 089-915-3600
<http://www.sakanouenokumomuseum.jp/>
施設運営・管理 / 四電ビジネス株式会社愛媛支店

前景 / 第二博物図(写真提供:国立公文書館)
背景 / School and Family Charts(学校家庭用掛図)No.21(写真提供:国立公文書館)
挿絵 / 画:下高原健二 所蔵:石川武美記念図書館



左/秋山家旧蔵『詩経』《愛媛県生涯学習センター所蔵》、中/正岡家親族写真《松山市立子規記念博物館所蔵》、右/明治期の小学校の机・椅子《重要文化財旧開智学校所蔵》

第8回企画展 テーマ展示 近代国家制度の形成① 明治の教育

子規・真之と小学校

明治の日本は、富国強兵・殖産興業・文明開化をスローガンに、近代国家としての道を歩み始めます。政府は、近代国家制度の確立に必要な人材を育成するため、1872（明治5）年に「学制」を發布し、国民皆学

の方向を打ち出しました。当時の国の指導者たちは、欧米を参考に新たな教育制度の構築を図り、教育改革に取り組んでいます。しかし、その道のりは平坦なものではなく、さまざまな混乱や試行錯誤がみられました。

江戸時代の最末期に誕生した正岡子規や秋山真之たちは、こうした教育の変革期のなかで成長していきました。子規・真之が学んだころの初等教育には、依然として江戸期の要素が濃厚に残っています。彼らは近代的な「小学校」に通う一方で、江戸

期からの教育者たちによる「私塾」で教えを受けました。近代国家制度の形成のなかで活躍した彼らの教育の根底には、江戸と明治の要素が併存していたといえます。

今回の展示では、教育掛図・教科書類などの実物資料や明治松山の教育関係資料を展示し、子規・真之が学んだ明治初期の初等教育の実像に迫ります。

▼秋山久敬、貞、真之写真《個人蔵》



▼第二単語図《玉川大学教育博物館所蔵》



坂の上の雲ミュージアム

SAKA NO UENO KUMO MUSEUM

〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地 TEL 089-915-2600 FAX 089-915-3600
E-mail:saka-museum@city.matsuyama.ehime.jp URL:http://www.sakanouenokumomuseum.jp/

アクセス

- ・JR松山駅から [所要時間約10分]
- ・道後温泉から [所要時間約10分]
- ・松山空港から [所要時間約30分]
- ・松山観光港から [所要時間約30分]
- ・松山自動車道松山インターから [所要時間約20分]
- 市内電車(道後温泉行)——大街道下車——徒歩2分
- 市内電車(全線)——大街道下車——徒歩2分
- リムジンバス(道後温泉行)——大街道下車——徒歩2分
- リムジンバス(道後温泉行)——大街道下車——徒歩2分

